

第10回 渡辺知明・表現よみ独演会

特集=おかしな、おかしな、おかしなチェーホフ!



チェーホフの名翻訳者・松下裕氏のご厚意で『チェーホフ・ユモレスカ』（新潮社）から、大好きなチェーホフを思う存分よませさせていただきます。若きチェーホフのユーモアと変化のある作品の数々をお楽しみください。松下裕氏にはお話しさせていただきます。

鶯の顔見せ興行 駆け出し作家の心得 ポーリニカ ヴァライエティ・ショールーム 男爵



●人生の一瞬のきらめきと皮肉な結末、物哀しくも愛すべき人物たち。チェーホフが新人作家だった頃の技ありのショートショートが、本邦初訳15篇を含む新訳で甦る(2006年7月刊行/新潮社/1890円)

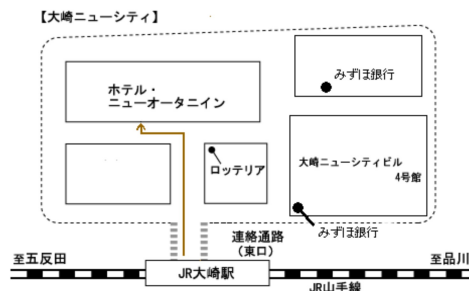
2006年9月3日(日) 開場 2:30PM 3:00-5:00

会場: ニューオータニン東京(JR大崎駅東口下車1分)

会費: 前売 2,000円(60席/当日2,300円/予約優先)

●予約・問合せ: 電話&FAX.03-3445-6499

Eメール w-tomo@tokyo.email.ne.jp



●わたなべ・ともあき一学生時代に日本コトバの会入会、表現よみ理論の研究と実践を開始▼1999年8月高知県立文学館「石川啄木の世界」を機に「千一夜会」結成。2000年3月「海のファンタジー=浦島さんとティオ」俳優・声優と共演。2000年11月「チェーホフ演劇祭40日」で小説「すぐり」公演。2002年3月第1回独演会でチェーホフ「たわむれ」。2003年3月第3回独演会でチェーホフ「ワーニカ」ほか。9月プレヒト演劇祭で『暦物語』の世界。10月第4回独演会、チェーホフ「眠い」ほか。2004年3月第5回独演会から、梶井基次郎「城のある町にて」シリーズ、太宰治「新釈諸国断」シリーズを開始。7月「ロシア文学表現よみの会」でシビリヤーク「森の物語」、チェーホフ「かもめ」のひとりドラマ・リーディング▼著書『表現よみとは何か』(1995明治図書)。ネットで表現よみ作品公開<http://www.ne.jp/asahi/kotoba/tomo/>▼Blog表現よみ作品集<http://www.voiceblog.jp/kotoba/>

主催:コトバ表現研究所 〒141-0022 東京都品川区東五反田2-15-6-515

ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/kotoba/tomo/>